

第二号研修実地研修評価票：半固形化栄養剤による胃ろう又は腸ろうによる経管栄養

医療法人社団喜生会

評価基準

「ア」…評価項目について手順通りに実施できている。  
 「イ」…評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。  
 「ウ」…見過ごせないレベルであり、その場で指導した。  
 「エ」…1人での実施を任せられるレベルではない。

受講者番号	
研修受講者氏名	
本票ページ数	/

実施回数		( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目
実施月日		/	/	/	/	/
実施時間						
実施手順	評価項目	評価				
STEP4 : 準備	1 医師の指示等の確認を行う					
	2 手洗いをを行う					
	3 必要な物品を準備する					
	4 指示された栄養剤（半固形化栄養剤）の種類・量・温度・時間を確認する					
	5 半固形化栄養剤の注入準備を行う					
	6 準備した半固形化栄養剤を実地研修協力者のもとに運ぶ					
STEP5 : 実施	7 実地研修協力者に本人確認を行い、半固形化栄養剤の経管栄養の実施について説明する					
	8 注入する半固形化栄養剤が実地研修協力者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する					
	9 経管栄養チューブに不具合がないか確認し、確実に接続する					
	10 注入を開始し、注入直後の様子を観察する					
	11 注入中の表情や状態の変化を観察する					
	12 挿入部からの栄養剤（半固形化栄養剤）ののれを観察する					
	13 注入中の実地研修協力者の状態（気分不快、腹部膨満開感、おう気・嘔吐等）を観察する					
	14 注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する					
	15 半坐位の状態を保つ					
STEP6 : 報告	16 実地研修協力者の状態を食後しばらく観察し、看護職員に報告する					
	17 体位交換が必要な実地研修協力者に対しては、異常が無ければ体位変換を再開する					
	18 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）					
STEP7 : 片付け	19 使用物品を速やかに後片付ける					
STEP8 : 記録	20 ケアの実施の証明および今後のケアプランに活用できるように記録する					
アの個数 計						

評価項目の1から20の全ての項目について、必ず「ア」「イ」「ウ」「エ」の評価を記入して下さい。

※評価基準(ア・イ・ウ・エ)は、1~20まで全ての手順に対して必ずご記入ください。

※訂正の際は二重線のうえ訂正印をお願いします。

\* 自由記載欄

( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	

【合格基準】 ①累積成功率が70%以上であること  
 ②最終3回のケア評価が全てアであること

指導看護師氏名 (自署)		判定	合・否
-----------------	--	----	-----